3 目指す姿(基本理念・基本目標・施策の体系)

1 基本理念

漁業を担う人材を確保し、地域の柱となる力強い水産業の育成を目指す

2 基本目標と関連事業体系

基本目標(1) 収益性の高い魅力ある経営体の育成

漁業・養殖業における経営力の強化や収益性の向上のため、経営指導の強化により、新技術の開発・導入、経営の多角化などに取り組み、地域のモデルとなるような魅力ある経営体や、しごと創出のための雇用型漁業の育成に取り組む。

- ■経営改善計画の策定及び実行による漁業者の経営力強化
- ②漁業・養殖業の収益性向上
- 3しごと創出のための雇用型漁業の育成

基本目標(2) 浜・地域の魅力を活かした水産業の活性化と就業者確保

「浜の活力再生プラン」の作成と具体化への支援の取組推進、観光業、エネルギー産業などとの連携による交流人口や漁業収入の拡大により地域の活性化を目指す。また、浜・地域の魅力発信による就業者の呼び込みや水産経営支援ときめ細かな離職防止に取り組む。

- ①「浜の活力再生プラン」の作成と具体化の推進などによる浜と地域の活性化
- -❷水産経営支援ときめ細かな離職防止
- -個他産業との連携強化などによる浜の活性化

基本目標(3) 国内外での販路拡大と価格向上

本県水産物の国内外での販路拡大と価格向上を推進し、水産業の収益性向上を図るため、県内向け供給 体制の強化や消費ニーズに対応した商品づくり、輸出拡大のための流通・輸送体制の構築などに取り組む。

- ・①地域内流通の強化と魚食普及の推進
- -2大消費地のニーズ等に応じた商品づくりと付加価値の向上
- -3海外で評価される魚づくり
- -4輸出拡大に資する流通・輸送体制の構築
- -⑤高度衛生管理やコスト削減に対応した流通体制の構築

基本目標(4) 漁業生産を支える豊かな漁場・安全で快適な漁村の環境整備

水産資源の維持・回復を図るため、資源管理の推進や、増殖場の整備などに積極的に取り組む。また、漁業に従事する高齢者や女性にとっても安心して働くことができる漁港・漁村の環境を整えていく。

- ①資源管理の推進
- -②「藻場回復ビジョン(仮称)」に基づく総合的な藻場回復などの漁場づくりの推進
- ③漁港整備や浜の環境整備の推進

3 基本指標

基本理念のもとに掲げた4つの基本目標の達成に向け、以下6項目を基本指標として定め、達成状況を管理・評価する。

指標名	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)
海面漁業生産量	24万 4 千トン (H25年)	25万4千トン (H32年)
海面漁業生産額	642億円 (H25年)	670億円 (H32年)
海面養殖業生産額	279億円 (H25年)	330億円 (H32年)
漁業就業者数	14,310人 (H25年)	12,000人 (H32年)
食用加工品出荷額	360億円 (H25年)	400億円 (H32年)
水産物輸出額 (関係団体分)	11億円 (H26年度)	30億円 (H32年度)

【参考】海面漁業生産量・生産額目標値の沿岸、沖合別内訳

海面漁業生産量	沿岸	13万トン	13万3千トン
	沖合	11万4千トン	12万1千トン
海面漁業生産額	沿岸	398億円	411億円
	沖合	244億円	259億円



クロマグロ人工種苗の生簀への収容



水産教室での餌やり体験

4 関連事業群と関連指標一覧

基本日標 事業群 関連指標 ○漁業所得300万円以上に達した経営体数 (1) 収益性の高い ① 経営改善計画の策定及び 基準値:594経営体(H25年) 魅力ある 経営体の育成 実行による漁業者の 目標值:790経営体(H32年) 経営力強化 ○経営改善に向けた取組により、経営改善・強化 を図った漁業者数(経営改善計画策定数) (累計) 基準値: - (-) 日標値:161件(H32年度) ○コスト削減、高品質化、経営多角化により ② 漁業・養殖業の収益性向上 収益向上を図った経営体数(累計) 基準値: 22経営体 (H26年度) 目標値:190経営体(H32年度) ○マグロ養殖の生産量 基準値:3,070トン (H25年) 目標値:3,500トン (H32年) ○雇用確保、雇用条件等処遇改善を実施した ③ しごと創出のための 経営体数(累計) 雇用型漁業の育成 基準値: 目標値:35経営体(H32年度) ○漁業所得(1経営体平均) ① 「浜の活力再生プラン」の 作成と具体化の推進など による浜と地域の活性化 (2) 浜・地域の ※浜プラン参加者 魅力を活かした 水産業の活性化と 就業者確保 基準値: 2,239千円 (H25年) 目標値: 2,555千円 (H30年) ○漁協連携等に取り組む地区数(累計) 基準値: 3地区(H26年度)目標値:11地区(H32年度) ○65歳未満漁業就業者の5年間における離職率 ② 水産経営支援ときめ細かな 離職防止 基準値:10% (H25年) 目標值: 5%以下(H32年) ○漁業共済加入率 基準値:56.0% (H26年度) 目標値:70.0% (H32年度) ○新規漁業就業者数 ③ 漁村地域の魅力発信による 基準値:136人/年度(H26年度) 幅広い年代にわたる 漁業就業者の呼び込み 目標値:180人/年度(H32年度) ※H28~H32累計900人 ④ 他産業との連携強化など ○他産業と連携した新たな取組の導入件数(累計) による浜の活性化 基準値: 5件(H26年度)目標値:26件(H32年度)

基本目標	事業群	関連指標
(3) 国内外での 販路拡大と 価格向上	① 地域内流通の強化と魚食普 及の推進	○長崎県の魚愛用店の認定店舗数(累計) 基準値:121店舗(H26年度) 目標値:200店舗(H32年度)
		○地域内デリバリー配送先数(累計) 基準値: 8箇所 (H26年度) 目標値:60箇所 (H32年度)
	② 大消費地のニーズ等に 応じた商品づくりと 付加価値の向上	○大消費地において新たに取引を開始した 商品数(累計) 基準値: - (-) 目標値:50商品(H32年度)
	③ 海外で評価される魚づくり	○海外ニーズを踏まえた製品開発(養殖魚) を行い輸出につながった件数(累計) 基準値: − (−) 目標値:15件 (H32年度)
	④ 輸出拡大に資する流通・ 輸送体制の構築	○水産物輸出額(関係団体分) 基準値:11億円(H26年度) 目標値:30億円(H32年度)
	⑤ 高度衛生管理やコスト削減 に対応した流通体制の構築	○HACCP等認定加工場数(累計) 基準値: 5件(H26年度) 目標値:12件(H32年度)
(4) 漁業生産を支える 豊かな漁場・ 安全で快適な 漁村の環境整備	① 資源管理の推進	○検証・改善に取り組む資源管理計画数(累計) 基準値: - (-)(-) 目標値:189件(31件**)(H32年度) ※地域特産魚種に関する計画数
	②「藻場回復ビジョン(仮称)」 に基づく総合的な藻場回復 など漁場づくりの推進	○漁場整備面積(累計) 基準値:622k㎡(H26年度) 目標値:742k㎡(H32年度)
	③ 漁港整備や浜の環境整備 の推進	○浮桟橋、防風施設、防暑施設等の整備を 行う漁港数(累計) 基準値:28漁港(H26年度) 目標値:60漁港(H32年度)